

カナダ高配当株ファンド

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：カナダ高配当

2021年4月20日から2021年9月9日まで

第16期 償還日：2021年9月9日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、カナダの株式を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	11,414円56銭
純資産総額(償還日)	22百万円
騰落率(当期)	+7.0%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

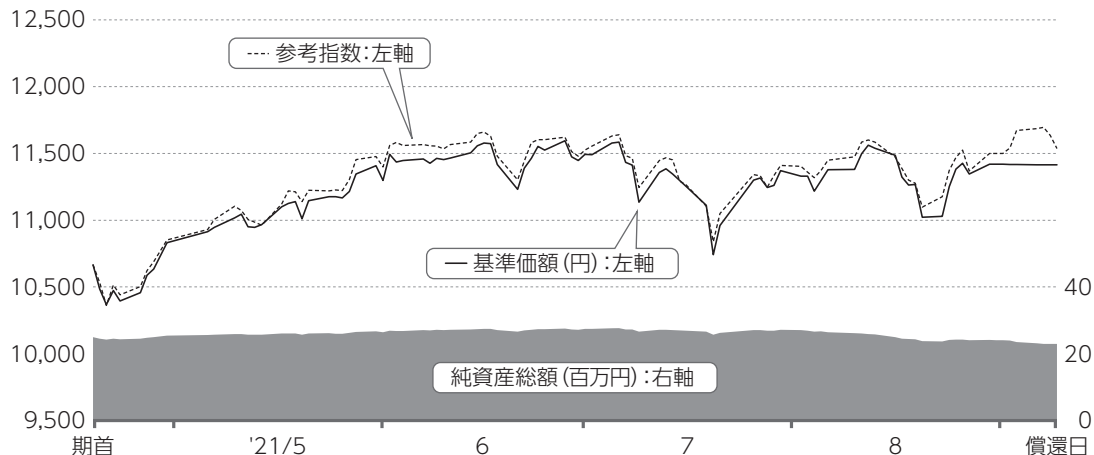
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について (2021年4月20日から2021年9月9日まで)

基準価額等の推移



※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	10,667円
償 還 日	11,414円56銭
騰 落 率	+7.0%

※当ファンドの参考指数は、S&Pトロント総合指数(配当込み、円換算)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因 (2021年4月20日から2021年9月9日まで)

当ファンドは、プリンシパル／CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド JPYクラスへの投資を通じて、主としてカナダの株式へ投資を行いました。

上昇要因

- セクター別では、情報技術、金融、資本財・サービスなどが上昇したこと
- 個別銘柄では、オンライン取引プラットフォームのショッピファイ (情報技術) が新型コロナウイルス危機以降、同社サービスに対する需要が高まる中で業績が拡大したことなどを背景に大きく上昇したことに加え、カナダロイヤル銀行 (金融) やカナディアン・インペリアル・バンク・オブ・コマーズ (金融) が上昇したこと

下落要因

- セクター別では、素材や一般消費財・サービスなどが下落したこと
- 個別銘柄では、金の生産などを手掛けるヤルンディン・マイニング (素材) やエルドラド・ゴールド (素材) が、2020年に力強く上昇した金価格が調整したことなどを背景に下落した他、自動車部品販売会社のマグナ・インターナショナル (一般消費財・サービス) が下落したこと

1万口当たりの費用明細 (2021年4月20日から2021年9月9日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	61円	0.541%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,255円です。
(投信会社)	(21)	(0.185)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(39)	(0.345)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(－)	(－)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(－)	(－)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	61	0.544	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

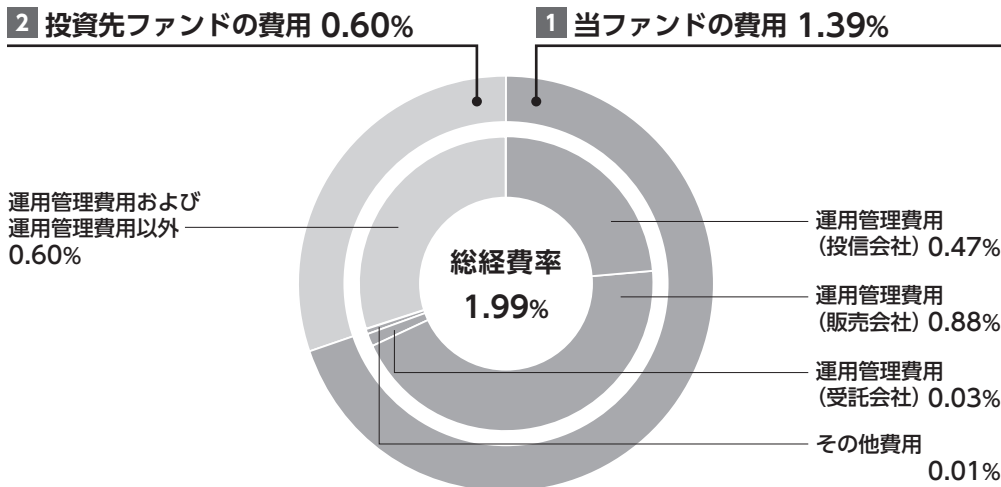
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率 (年率換算)



総経費率 (1 + 2)	1.99%
1 当ファンドの費用の比率	1.39%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.60%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

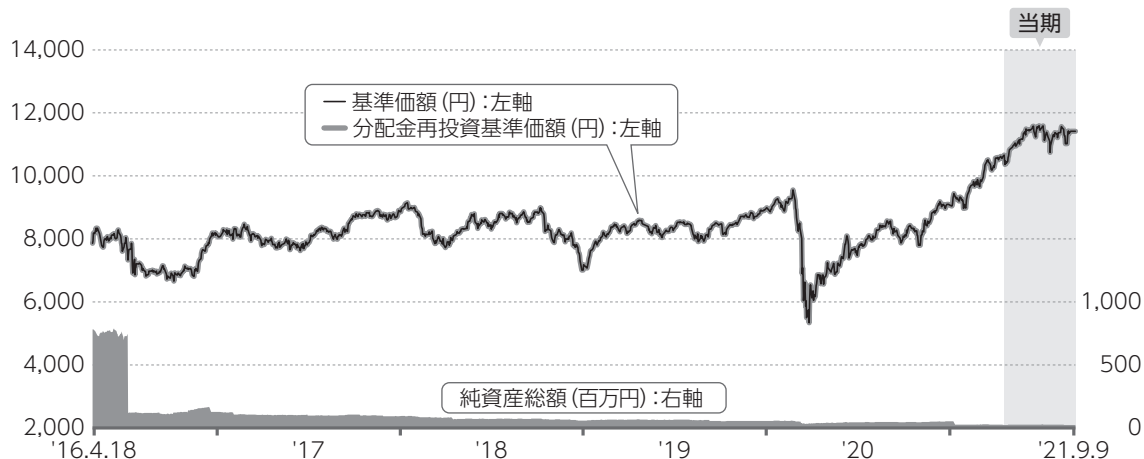
※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.99%です。

最近5年間の基準価額等の推移について (2016年4月18日から2021年9月9日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2016年4月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2016.4.18 決算日	2017.4.17 決算日	2018.4.17 決算日	2019.4.17 決算日	2020.4.17 決算日	2021.4.19 決算日	2021.9.9 償還日
基準価額 (円)	7,865	7,821	8,146	8,551	6,580	10,667	11,414.56
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-0.6	4.2	5.0	-23.0	62.1	7.0
参考指数騰落率 (%)	—	14.5	6.2	9.6	-20.3	62.1	8.2
純資産総額 (百万円)	739	102	69	67	38	24	22

参考指数について

※当ファンドの参考指数はS&Pトロント総合指数 (配当込み、円換算) です。

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の動向を示すために記載しています。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金 (税引前) を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について (2021年4月20日から2021年9月9日まで)

期間におけるカナダ株式市場は、上昇しました。為替市場では、カナダドルは円に対してやや下落しました。

期間のカナダ株式市場は上昇しました。新型コロナウイルスのワクチン接種の進展などを背景とした経済活動の正常化に対する期待や、堅調な企業業績が発表されたことなどがカナダ株式市場の上昇要因となりました。原油価格も上昇しました。新型コロナの変異ウイルスによる感染拡大や中国経済の減速に対する懸念などから原油価格が下落する局面もありましたが、期間を通じてみると経済活動の再開により原油需要が回復するとの期待などを背景に上昇しました。また、カナダ国債利回りは、短期ゾーンが上昇した一方で、中長期ゾーンは低下しました。カナダドルは、対米ドル、対円ともに下落しました。

国内短期金融市場では、期首-0.10%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.08%~-0.15%内での動きに終始し、-0.12%近辺で償還日を迎えました。

ポートフォリオについて (2021年4月20日から2021年9月9日まで)

当ファンド

主要投資対象であるプリンシパル／CSカナディアン・エクイティ・インカム・ファンド JPYクラスを期を通じて組み入れました。その後、2021年9月の償還に向けて売却し、2021年9月9日に繰上償還いたしました。

プリンシパル／CSカナディアン・エクイティ・インカム・ファンド JPYクラス

持続的に高い配当の支払いを行うことが可能な銘柄を中心に、事業ファンダメンタルズ(基礎的条件)とバリュエーション(投資価値評価)が魅力的な銘柄を多く組み入れました。

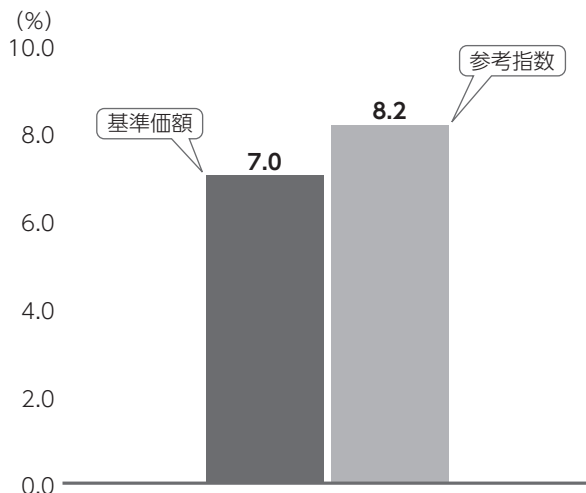
償還(におけるポジション解消)の前まで、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展などを背景とした経済活動の再開の恩恵を受けると考えられる景気循環銘柄やエネルギー銘柄などを購入した一方で、これまでの株価上昇が力強かった情報技術銘柄などを売却しました。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

ベンチマークとの差異について (2021年4月20日から2021年9月9日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS&Pトロント総合指数(配当込み、円換算)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について (2021年4月20日から2021年9月9日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

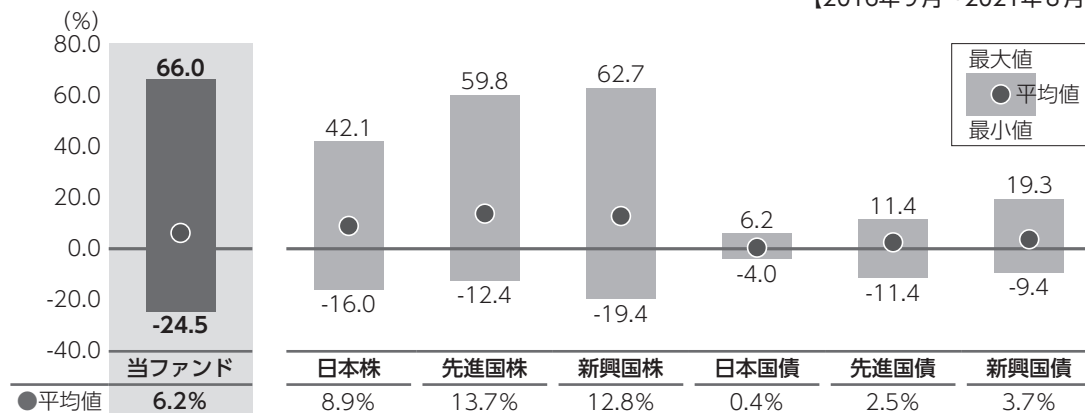
3 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2014年1月17日から2021年9月9日まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、カナダの株式を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 プリンシパル／CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド JPYクラス カナダの株式等 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■外国投資信託証券への投資を通じて実質的にカナダの株式へ投資を行うことで、安定した配当収益の確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■株式への投資に当たっては、主に配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄の中から個々の企業のファンダメンタルズを勘案して、銘柄を選定します。 ■外国投資信託証券における株式の運用は、プリンシパル・グローバル・インベスターズLLCが行います。
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への直接投資は行いません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として毎年4月および10月の17日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

4 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【2016年9月～2021年8月】



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイインデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

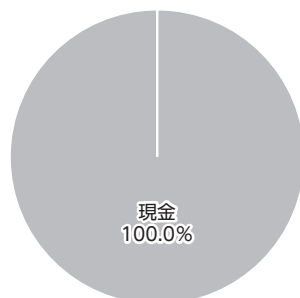
5 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2021年9月9日)

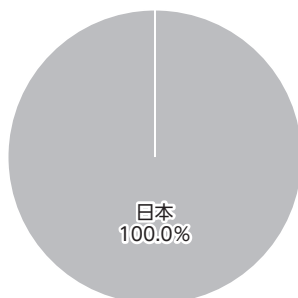
組入れファンド等

償還日現在の組入れはありません。

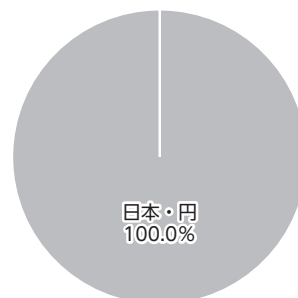
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第16期末 2021年9月9日
純資産総額	(円)	22,954,565
受益権総口数	(口)	20,109,897
1万口当たり基準価額	(円)	11,414.56

※当期における、追加設定元本額は826,536円、解約元本額は4,101,086円です。

6 償還を迎えて

当ファンドは、2021年9月9日に繰上償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。